

栄養科 冬の行事食

栄養科 竹内典子

行事食紹介

令和8年1月13日

おしるこ(鏡開き)

鏡開きの日には、無病息災などを祈り、神様に供えた鏡餅をおさがりとしていただきます。普通食・一口大食・やわらか食の方に、やわらかく仕上げたセンター特製の「酵素がゆもち」を毎年提供しています。

おもちを作っています



おしるこ調製中



酵素がゆもち入りのおしるこ

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第577号 発行日 令和8年1月31日

新年のごあいさつ

府中療育センター院長 清水俊夫



皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は大きな医療事故もなく、またセンター祭や慰霊祭など各行事もつつがなく開催できたことをあらためて感謝いたします。ありがとうございました。本年、当センターとして大切にしたいと思うことを二つほど共有させてください。

第一は「心理的安全性」です。これは、現在多くの企業や病院において組織運営上最も大切なこととして推奨されていることです。心理的安全性とは「自分は組織の一員として、対人関係においてリスクのある行動をとってもこのチーム内では安全であるという、チームメンバーによって共有された意識」です。具体的には(1)職場内での対人関係を損ねるか迷う場面でも、事実にも目を背けず、懸念が口にできるという空気がチームに共有されている状態(2)何か失敗してもそのために罰せられたり、評価が下がることはないメンバーが確信している状態(3)助けや情報を求めても不快そうに無視されたり、恥をかかされたりしないと思える状態とされています。

この心理的安全性は、チーム医療には必須であると言われています。チーム医療では、それぞれの職種が対等に意見を言い合い、ある方向に向かって志を一つにすることが求められますが、医療機関において最も重要な方向とは「患者の安全」です。そのため、心理的安全性は医療安全の根幹をなすものだと言われています。2026年は、利用者の安全のため、また職員の安全のために、この心理的安全性を向上させる一年でありたいと思います。

二つ目は「誇り」と「情熱」です。昨今、人手不足が社会問題となっている医療業界ですが、当センターも例外ではありません。その影響で今年も忙しい日々を過ごさなければならぬかとは思いますが、その中で決してなくしてはいけないものが、重心医療・療育に対する誇りと情熱です。当センターの規模は東京都内ではトップで、その質もトップレベルだと思います。そのことを忘れず、日本の重心医療・療育をリードする心意気で仕事をしてもらいたいと思います。

今年も午年です。疾走する馬のごとく、今年も前進する一年でありたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

生活療育支援科 日常生活の様子

生活療育支援科 日中活動担当

【グループ活動】「おーいおーい」は、数十年の歴史のあるグループです。ピアノ伴奏や一緒に歌うボランティアも参加して、毎週にぎやかに過ごしています。「上を向いて歩こう」で始め、「ひなまつり」「赤とんぼ」といった童謡から「瀬戸の花嫁」等の歌謡曲まで、順番に好きな歌を選び、皆と一緒に歌います。「はないちもんめ」等のわらべ歌遊びや歌すごろく等のゲームも取り入れ、歌を歌うことを中心として、音楽に関するいろいろな内容を楽しんでいます♪



【個別活動】週一回、ご本人の要望に沿って、主に、ネット検索し好みの物を購入、手紙の作成等を行っています。ハローキティが大好きで、キティちゃんの洋服（ぬいぐるみ用）や好きなアイドルのCD等、もちろん自分の洋服もね！手紙は、自分のパソコンで家族、友人やキティちゃんへのファンレター等を下書きし、活動内で一緒に添削、清書して完成させています。なんと先日キティちゃんからお返事が届き、大喜び♡再びお礼の手紙を書きました。それ以外にも、音楽鑑賞、コンビニでの買い物等、毎回、会話もはずみ楽しく活動を行っています。



だいすき



通園 ～もちつき会～

通園担当



1月16日（金曜日）にもちつき会を開催しました。

「ぺったんぷう」の手あそび歌をみんなで歌い、ワクワクドキドキは最高潮。温かく真っ白なお餅の登場に、保護者の皆さんと子どもたちは、目をキラキラ輝かせていました。

臼にお餅を入れ、準備は万端！子どもたちは、法被姿で気合十分！杵を持ち、親子でお餅をつきました。「よいしょ！」「ぺったん！」と元気な掛け声の応援で、会場が盛り上がりました。子どもたちも保護者の皆さんも笑顔が絶えない会となりました。



もちつき会後は、ついたお餅で感触あそびをしました。柔らかいお餅に触れ、独特の粘りや伸びる様子に子どもたちは興味津々。保護者と一緒に手で丸めたり、引き伸ばしたりしてお餅の感触を楽しみました。これからも日本の伝統を行事や、あそびを通して学び楽しみたいと思います。



おもちつき



20歳を祝う会

通所担当

学校では体験することができない人生の大きなイベントには「20歳を祝う会」があります。通所では、そんな大イベントである二十歳の門出を利用者・職員とでお祝いすることが、毎年恒例の行事となっております。

通所には昨年二十歳となった方から10年前に二十歳を迎えた方、さらには二度目の二十歳を迎えた方、思い出すこともできない職員等々、たくさんいます。

そんな通所で今年二十歳を迎えるのは1名です。生まれてから「20歳を祝う会」を行った1月23日まで7520日。職員たちはほぼ2万日を超えているので、やはり若いの一言に尽きます。

お母様から小さい頃の思い出や名前の由来（素敵な思いが込められた名前です）などを伺ったり、スーツできめた写真を撮ったりと短い時間でしたが、楽しく盛り上がることができました。思い出に残ってくれたら嬉しいです。



【樽酒型のクラッカー！！きれいに弾けました】

出張販売会

事務室 用度担当

12月3日（水曜日）、出張販売会を多目的ホールで開催しました。

この販売会は、院内で利用者やご家族に買い物を楽しんでいただくことを目的として昨年度から開催しているもので、今回は3回目の開催となりました。

今回は、出張販売業者「ふくまる」により、冬物の衣服、日用品、食品等の販売や、事前に注文のあった商品の受け渡しを行い、利用者やご家族、職員など多くの方々の参加がありました。

実際に参加された方からは、「品揃えが豊富で選ぶ楽しみがあった」、「普段施設内では手に入らない商品が買えて嬉しかった」という意見があった一方で、「開催時間が短かったので、もう少し時間をとってほしい」、「現金以外の支払い方法も検討してほしい」といった意見が寄せられました。

こうしたご意見を参考に、出張販売会の内容や運営方法をさらに工夫し、今後の販売会に反映させていきたいと思っております。

